

平成30年8月1日

東京都議会自由民主党
幹事長 吉原 修

TTF 事業に関する情報公開請求について

本日、都議会自民党は、別紙のとおり、東京都に対して2020年東京大会に向けた文化プログラム、TTF 事業（TokyoTokyoFestival）に関する情報公開請求を行いました。

2020年東京大会はスポーツの祭典であると同時に文化の祭典であり、我が党は一貫して文化プログラム事業の重要性を訴えてきましたが、文化プログラム事業の成功には、事業内容はもとより、全事業が健全な運営体制と適正な費用負担の下で行われることが求められます。

しかし、本年3月の予算特別委員会における我が党の質疑で、TTF プロモーション・ブランディング事業に関して、統括プロデューサーが事業の企画から実施まで幅広く関与していることが明らかになりました。

このため、同事業の運営や契約内容に関し、透明性の確保が求められることから、当該委員会で、本事業の詳細と今後の契約などについて知事に質しましたが、明確な答弁はありませんでした。

その後、我が党が事実関係を継続調査していた矢先、当該統括プロデューサーが辞任していたことが新聞報道で明らかになりましたが、現在まで、東京都から本件に関する説明は一切ありません。

都は、総額50億円にも及ぶ文化プログラム事業の成否に大きな役割を果たす、知事肝いりのTTF プロモーション・ブランディング事業の中心となる統括プロデューサーの辞任を承認しておきながら、都議会に一切報告しないまま都民の税金を投入し続けていくことは、二代表制を否定することに他なりません。

このような都の対応は断じて容認できません。本事業について解明すべき事実を闇に葬るのではなく、事業主体である都が責任を持って事実を明らかにし、説明すべきです。このため、本日、別紙のとおり情報開示請求を行いましたのでご報告いたします。

以上